



# 井の頭自然文化園 プレスリリース

井の頭自然文化園 問い合わせ先 0422-46-1100(代表)

開園時間は9:30～17:00(入園は16:00まで)、休園日は毎週月曜(祝日や都民の日にあたる場合は翌日)です。入園料は、おとな400円、中学生150円、65歳以上200円。小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料です。

2007年2月23日

## 「ニホンリスを知っていますか? ～森の動物ニホンリス展」

井の頭自然文化園(園長 永井 清)では、園を代表する動物であるリスをテーマとした特別展「ニホンリスを知っていますか? ～森の動物 ニホンリス展～」を開催しますので、お知らせします。

ニホンリスは本州・四国などに分布する日本固有の哺乳類で、東京都内でも奥多摩町などに生息しています。当園の「リスの小径」では80頭以上のニホンリスが放し飼いにされ、すぐ近くから観察することができます。しかし、野生のリスの暮らしはまだ謎が多く、開発によってその生息域は急速に狭くなっています。そこで、リス科動物の研究団体「リス・ムササビネットワーク」の皆様のご協力を得て、さまざまな角度からリスについてご紹介する特別展を開催します。



### リスの子育てが見られるかも

今回の特別展では、園内で飼育中のリス巣箱に赤外線カメラを設置し、その映像を会場でご覧いただくことが可能です。現在、モニター画面ではリスの寝姿を観察できます(時間帯によってはリスがいないこともあります)。通常、ニホンリスの繁殖は2月から6月にかけてですので、設置した巣箱の中で会期中にリスが繁殖すると、世界で初めてニホンリスの出産・子育てを公開することになります。



【生後40日のニホンリス】

### ニホンリスのすべて

特別展の会場では、ニホンリスの生態をパネルで解説するほか、骨格標本や食痕・糞・巣の実物標本など、さまざまな資料でニホンリスや日本産リス科動物のご紹介をしています。また、長野県でリスの撮影をしている写真家・加藤静さんの作品で、冬から春にかけてのニホンリスの自然な姿をお楽しみいただけます。



【ニホンリスの食痕】



【会場風景】

## リスになってみよう

特別展会場では、「リスになってみよう」というコーナーもご用意いたしました。リスの顔出しパネルや耳・尻尾のリス変身セットで、ご家族でリスになってみてください。人間がリスの大きさなら、このくらいの大きさ・重さと実感できる、オニグルミの模型もあります。



【リスの顔出しパネル】



【リスに変身】

### 井の頭自然文化園・資料館特別展「ニホンリスを知っていますか？ ～森の動物ニホンリス展」

- 共 催 東京都井の頭自然文化園  
リス・ムササビネットワーク
- 協 力 戸隠地質化石館，多摩森林科学園，帯広畜産大学
- 展示期間 平成19年2月20日（火）～3月31日（日）
- 展示場所 井の頭自然文化園・本園 資料館1階
- 開園時間 午前9時30分～午後5時（ただし入園は午後4時まで）
- 休 園 日 毎週月曜日（春休み期間中の3月26日は特別開園）
- 入 園 料 一般：400円、65歳以上：200円、 中学生：150円  
※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料

[参考]

#### ● ニホンリス

学 名： *Sciurus lis*

英 名： Japanese squirrel

分 類： 哺乳綱齧歯目リス科

習性等： 本州・四国・淡路島に分布し，九州では近年確認されておらず絶滅と考えられている。平地から標高2100mの林に住む。夏毛は赤褐色，冬毛は灰褐色で，冬眠はしない。

頭胴長： 18～22センチ

体 重： 210～210グラム

#### ●「リス・ムササビネットワーク」

リス・ムササビなどリス科動物に関する情報交換や研究成果の共用などを目的に、研究者やフィールドワーカーが中心になって1996年に設立した団体。ニュースレター発行のほか、関連する学会での集会やシンポジウムを実施。